

都市防災からみた 東日本大震災と帰宅困難

講師：廣井 悠 氏

(名古屋大学減災連携研究センター・准教授)

2011年3月11日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に多大な被害をもたらしましたが、関東地方においても帰宅困難や電力の供給不足による計画停電など様々な問題が顕著化した広域災害でした。今回は、この東日本大震災の被害と帰宅困難現象について、特に、大都市の被害について焦点を絞り、都市防災と人間行動の研究フィールドから検証された結果について紹介していただきます。来るべき大震災に対する最適な戦略についても、ご一緒に考えることができればと思います。

都市住宅学会会員以外の方も含め、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

- とき 2012年7月21日(土) 15:00～16:30
- ところ 名城大学図書館本館 視聴覚室（地下1階）

天白キャンパス（地下鉄鶴舞線塩釜口下車）〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地
TEL(052)832-1151（名城大学大代表）

- 講師プロフィール 廣井 悠 名古屋大学減災連携研究センター・准教授

2007年3月 東京大学大学院都市工学専攻博士課程中退。2007年4月 同 特任助教を経て、2012年4月より現職。専門は都市防災で、現在、災害時における行動や情報提供のあり方について実践的な研究を進めている。その成果により、2012年都市住宅学会賞（論説賞）を受賞。主な著書・論文に、『災害情報論』（共著、弘文堂、2008）、『巨大地震災害へのカウントダウン～東海・東南海・南海地震に向けた防災戦略～』（共著、東京法令出版、2009）、「都市防災と人間行動—経営工学の視点より—」（都市住宅学72号、2011）などがある。

- 参加費 無料
- 定員 100名
- 参加申し込み 別添申込書を7月17日までに、メールもしくはFAXにて送付ください
- 問い合わせ先 愛知教育大学 小川正光

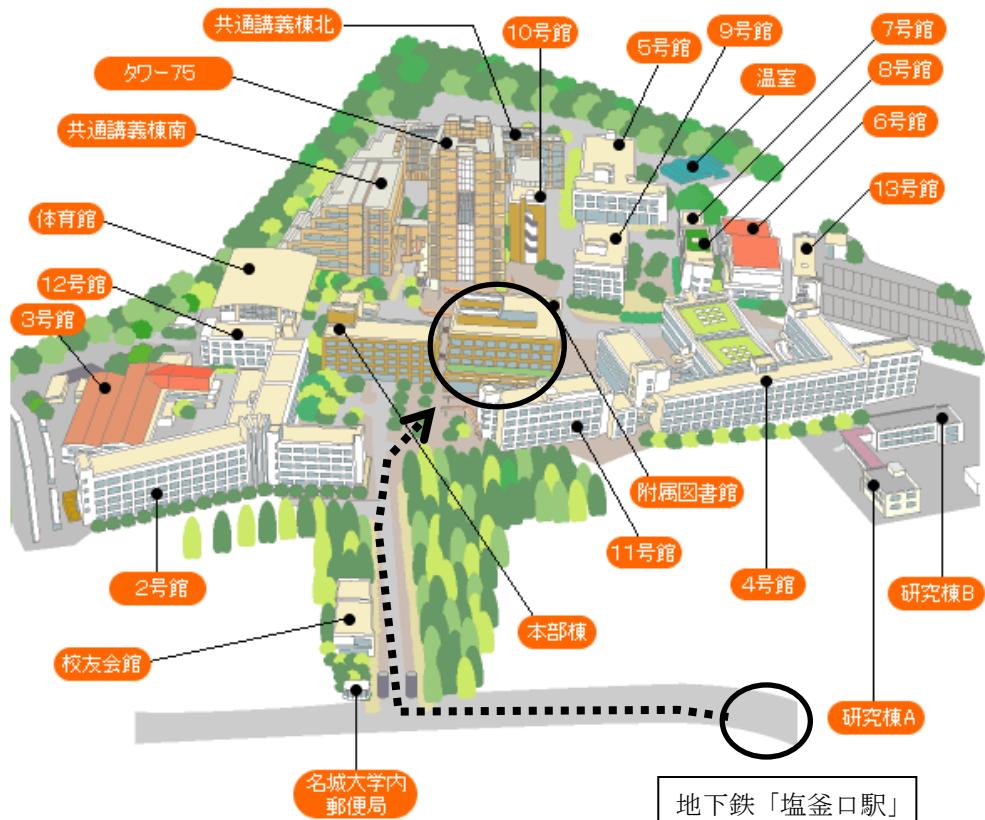
TEL, FAX:0566-26-2475

E-mail : mogawa@aeucc.aichi-edu.ac.jp

● 会場案内図 ●

名城大学図書館本館視聴覚室（地下1階）天白キャンパス

アクセス：地下鉄 鶴舞線 「塩釜口」1番出口下車徒歩8分（1番出口を出て右側へ道路沿いに歩くと右手に大学内郵便局があり、その手前の道を進むと大学正門があります。）



参加申込み 下記にて、2012年7月17日（火）までにお申込み下さい。

-----この用紙をそのままFAXして下さい-----

【参加申込書】 FAX : 0566-26-2475 (愛知教育大学・小川正光 宛)

7月21日（土）の都市住宅学会中部支部の講演会への参加を申し込みます。

姓 名	
勤務先・所属	
連絡先 TEL (自宅／勤務先)	
連絡先 E Mail	

※講演会参加にお申し込みを通じていただいた個人情報につきましては、講演会申込者の情報管理の範囲内においてのみ利用し、適正に管理します。

*上記内容をE-mailに記載し、下記 小川正光 宛に送信いただいても結構です。

件名を「7/21 廣井先生講演会 申込」としてください。 E-mail mogawa@aeucc.aichi-edu.ac.jp